



【インストール】 E-Lecture で授業 (コンテンツ) を配信するアプリをインストール

授業 (コンテンツ) を配信するには、専用のアプリ「E-Lecture Studio」が必要です。
専用の配信アプリは無料で入手できますので、使用する機器に合ったものをインストールしてください。

E-Lecture Studio ダウンロードページ
<http://www.e-lecture.net/jp/download/>

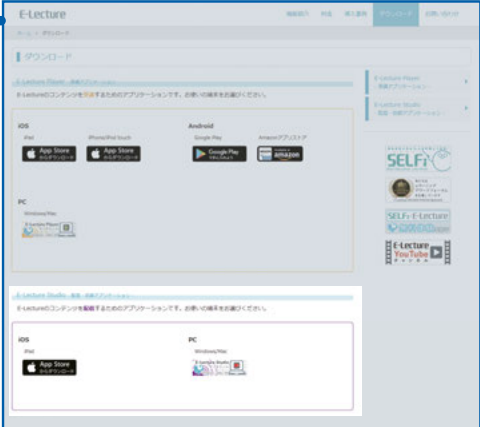
- | | |
|------|--|
| 対応機種 | <ul style="list-style-type: none"> ● パソコン (Windows / macOS) ● iPad |
|------|--|

- パソコン版のインストールについて
以下の動画の手順をご参考にしてください。

Windows <https://youtu.be/jvMxHmSqBew>

macOS <https://youtu.be/s8mmoCGZbDk>

- iPad 端末へのインストールについて
App Storeから「E-Lecture Studio」を検索してください。



【配信】 配信する授業 (コンテンツ) に接続する方法

01 配信用アプリ (E-Lecture Studio) を起動



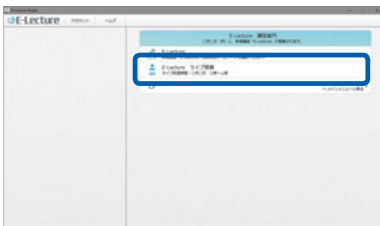
◀ E-Lecture Studio のアイコン

02 ログイン ID とパスワードを入力し [ログイン] をクリック (タップ)

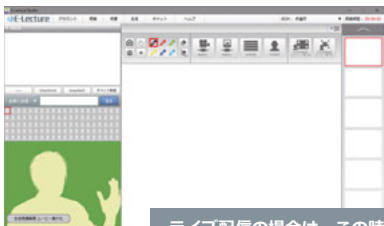


1つのログイン ID で、複数の機器にログインすると、先にログインしていた方が自動でログアウトされます。

03 配信する授業 (コンテンツ) をクリック (タップ)



▲ 講師アイコン



ライブ配信の場合は、この時点で配信を開始します。

【配信】 授業（コンテンツ）を配信・収録する方法

授業を開始する

01 ▼ **授業前** をクリック
※【開始する】のクリック前に表示した画像や手書きの内容は、【開始する】をクリックした時に全て消去されます

02 **開始する** をクリック
チャイム開始 ♪キーンコーン…

授業を終了する

03 ▼ **授業中** をクリック

04 **終了する** をクリック

05 **OK** をクリック
チャイム開始 ♪キーンコーン…

チャイム終了
※ 授業を終了すると、配信が終了し、自動的にアップロードが始まります

06 **OK** をクリック

この部分を
オンデマンド（録画）版で公開
（「開始する」をクリックするより
前の部分は公開されません）

【機能】 E-Lecture Studio 基本的な機能

1 【ペンツール・消しゴム】
ホワイトボードに手書き入力をするときに使用します。

消しゴム
一部分を消去
消しゴム (ALL 付)
手書きを全て消去

▲ ペンの色

▲ ペンの太さ (太・細)
マウスをクリックしながら動かしている間 (ドラッグ) の操作が、手書きや指先になります。クリックせずに画面をなぞるだけでは、手書きや指先の操作になりません。

2 【画像挿入】
ホワイトボードに事前に用意した画像を表示します。

サムネイル画像を選択
画像を表示

表示画像を消去する
画像を消去

※ 注意 ※
間違っても [削除] をクリックしないでください。
[削除] は画像一覧から画像を消去するときに使用します。

3 【選択肢】
最大で四択までの選択肢を表示できます。

選択肢を表示 選択肢を非表示

選択肢を消去する 表示中の選択肢をすべて消去する

▲ 選択肢はホワイトボードに表示されます

5 【生徒アイコン】
生徒が送信してきた反応に合わせて色が変わります。

● 反応ボタン「うん」 ● 反応ボタン「え？」
● 選択肢「1」 ● 選択肢「2」
● 選択肢「3」 ● 選択肢「4」
● チャット送信 ● 一定時間反応なし
● 接続していない

4 【チャット】
コメント欄で、生徒が送信したコメントを確認できます。

【チャット制御】
コメント欄の表示・非表示の切替ができます。
コメントの送信先を選択する機能について制限する設定ができます

【機能】 生徒参加機能 (手書き参加 / 映像・音声参加 / 画像アップロード)



【手書き参加】

生徒にホワイトボードへ書き込みをさせます

E-Lecture Player - 生徒画面 -



【参加を終了する方法】

- ・生徒側 (E-Lecture Player) で **板書終了** をクリック
- または
- ・講師側 (E-Lecture Studio) で **✎** をクリック

【映像・音声参加】

生徒の映像または音声を配信します

E-Lecture Player - 生徒画面 -



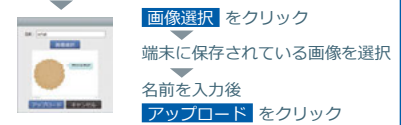
【参加を終了する方法】

- ・生徒側 (E-Lecture Player) で **板書終了** をクリック
- または
- ・講師側 (E-Lecture Studio) で **✎** をクリック

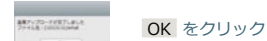
【画像アップロード】

生徒の端末にある画像をアップロードさせます

E-Lecture Player - 生徒画面 -



E-Lecture Studio - 講師画面 -



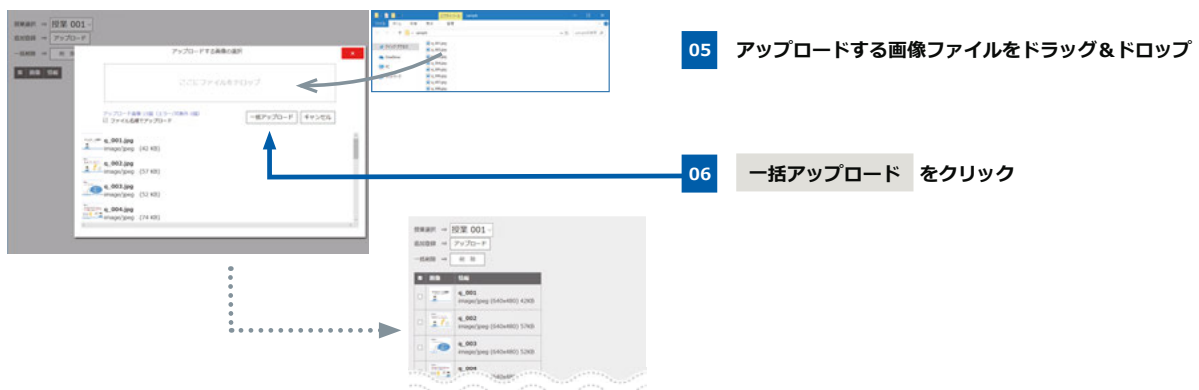
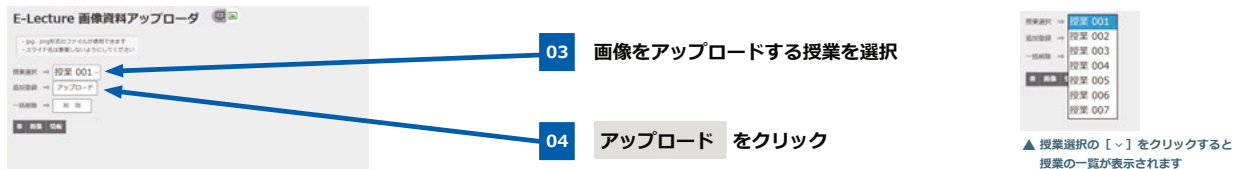
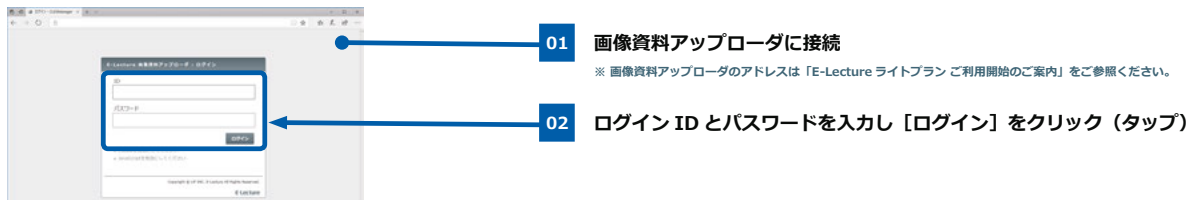
【アップロードされた画像を確認する方法】

画像挿入 より、画像一覧の一番下に追加されているのが確認できます。

※ サムネイルを選択するとホワイトボードに表示されます

【準備】 ホワイトボードに表示する画像をアップロードする方法

※ 授業開始前のみ操作が可能



【準備】 使用するウェブカメラを設定する方法

※ パソコン版 E-Lecture Studio (バージョン: 6.4.0 以降) のみ対応



01 外付けのウェブカメラを接続



02 E-Lecture Studio を起動・ログイン

03 ヘルプ をクリック

04 カメラ&マイク設定 を選択



05 カメラにある【▼】の一覧から配信・収録で使用するカメラを選択



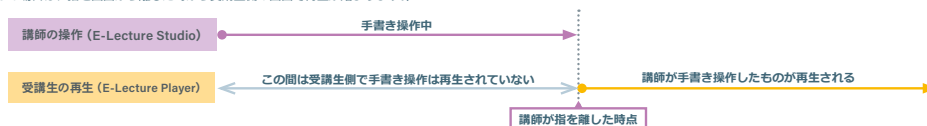
06 設定 を選択

カメラ設定を外付けのウェブカメラにして、起動時に外付けカメラを接続していなかった場合は、ご利用の端末の中で一番優先度の高いカメラが自動的に選択されます。サードパーティ製の外付けカメラをご使用になる場合は、事前に動作確認の上でご使用ください。(サードパーティ製のアプリケーションにつきましては弊社ではサポートいたしかねます)

【確認】 E-Lecture Studio を使うときの注意点

【手書き操作と受講生画面 (E-Lecture Player) との再生の時差】

E-Lecture Studio で行われた手書きの操作は、**クリックする指をマウスから離れた時に、受講生側の画面 (E-Lecture Player) で再生が始まります。**
(※ iPad 版 E-Lecture Studio の場合は、指を画面から離れた時から受講生側の画面で再生が始まります。)



▶ 一筆書きのような数秒間にわたる長い手書きは、細かくペン先を離して操作することで、受講生側の画面 (E-Lecture Player) の再生とのズレを小さくすることができます。

【生徒参加機能より 映像・音声参加 機能を使用するとき】

講師側のパソコンや iPad にヘッドフォンを使用するなどして、E-Lecture Studio (講師側) で再生された受講生の音声をマイクで拾わないようにしてください。

映像や音声で参加中の受講生の音声を E-Lecture Studio (講師側) のパソコンや iPad のスピーカーで再生すると、講師側のマイクで拾われて、音声がループを起こしてしまう可能性があります。
 ※ 受講生が映像や音声で参加している間も講師の映像は配信されています

【授業に接続してスライド画像や授業の流れなど実際の操作を確認したあと、すぐ授業を開始しないとき】

■ 確認作業が終わった時に【授業開始】→【授業終了】の操作をすることを推奨します。

授業開始・終了の操作をせず、「アカウント > 授業選択画面に戻る」の操作を行うと、授業データに不要なログがのこり、録画版作成に支障をきたす可能性があります。

【動画挿入 機能について】

画像挿入と同じように、あらかじめ用意しておいた動画を一覧から選択するとホワイトボードに動画が再生されます。
 iPad 版のオンデマンドダウンロード再生機能 (「講師動画 + 画像資料・手書き操作」の授業 (コンテンツ) をライブラリ的に使用する機能) の動作対象外です。
 動画資料を使用した授業 (コンテンツ) のダウンロード再生を許可した場合、ダウンロードしたコンテンツは通常の録画版と同じように再生はされません。